



## 第1928回 例会

2013-14年度RI会長:ロン D・バートン  
第2640地区ガバナー:久保 治雄  
創立:昭和49年5月15日  
会長:竹村 英一  
幹事:後藤 信博  
会報:谷本 司



## VOL41 No. 40

### 2014年 5月 7日 (水)

事務所:田辺市下屋敷町81-10  
きのくに信用金庫田辺支店3F  
Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008  
E-mail t-eastro@mb.aikis.or.jp  
例会:毎週水曜日 12:30~

#### 司会者

竹村 英一 会長

#### 唱歌

“君が代”  
“田辺東ロータリー讃歌”  
野村 憲司君



#### 出席報告

会員数	義務免除	欠席者数	本日出席率
51名	7名	10名	77.27%

4月16日修正出席率95.74%

#### ニコニコ箱

(敬称略)

◇久しぶりに内卓します。 浦地 章  
◇浦地 章さん卓話頑張って下さい。  
　愛須・後藤・本田・石井・片井・畔田・丸山  
　中川・岡本・奥平・佐田・坂本・竹村・谷峯  
　谷本・上原・早稲田・山本・安井・吉田  
◇40周年記念事業の「紀南フューチャー キッズ プロジェクト」大成功でした。皆さんの御協力感謝致します。玉置さんには大変お世話になりました。

愛須

◇「紀南フューチャー キッズ プロジェクト」大成功でした。皆さんお疲れ様でした。今、ベルギーです。

谷中

◇お久しぶりです。 畑地

◇佐田さん、山本さん、ミミズありがとうございます。これでモグラ捕れそうです。 吉本

◇お花頂きます 玉置

☆本人誕生日 丸山(博)・野村

☆結婚記念日:堀・木村・西谷・小倉

今年で結婚記念は33回となります。もう、空気のようです。お互い、無くてはならない存在になっております。いつも感謝しています。明子へ正人より。

坂本

☆奥様誕生日:畠地・小山・中嶋

いつもいろいろご苦労様♥ 野村

■4月27日(日)は(公社)白浜・田辺青年会議所との共同事業の記念事業「紀南Future Kids Project 2014 ~未来を担う子どもたちのために~」を開催致しました。前日の26日(土)の準備の後、突然の雷鳴と共に雨が降り始めたため心配しておりましたが、当日は爽やかな過ごしやすいお天気になり、無事に終えることができました。

共同で事業を行った(公社)白浜・田辺青年会議所様をはじめ、陸上自衛隊や海上保安庁、日本赤十字、消防士の方々にもご協力いただきました。

また、1年間の2640地区の米山記念奨学生を3月に修了された権梅紅様、他9名もの奨学生と、2014年度米山記念奨学委員会委員長 雪本孝治様にもご協力いただきました。

そしてまた、いろいろ準備をしてくださった記念委員長補佐の武田君をはじめ記念事業委員長の平野君、副委員長の愛須君、事業委員会相談役の玉置君、記念事業委員会の皆様、大変ご苦労様でした。奥様方やお嬢様にもお手伝い頂き、皆様のおかげで子どもたちの楽しそうな笑顔をいっぱい見ることが出来ました。有難うございました。

40周年記念事業も残すところ記念例会のみとなりました。

■4月27日(日)スターゲイトホテル関西エアポートに於いて「2014~2015年度のための地区研修・協議会」が開催されました。出席していただいた皆様お疲れ様でした。

■4月30日(水)田辺市長へ創立40周年記念品の目録を贈呈に行ってきました。

■4月30日(水)、40周年記念式典委員会の打合せが行われました。出席していただいた皆様、ご苦労様でした。

#### 会長報告

■本日のプログラムは内卓ということで、会員の浦地章君です。後ほど宜しくお願ひ致します。

## ■持ち回り理事会の報告を致します。

- ◎4月27日(日)の事業のお礼広告を紀伊民報に掲載する件…承認。 (4月30日付=29日夕刊に掲載済み)  
◎4月27日(日)の事業を共催致しました (公社)白浜・田辺青年会議所様からクラブに記念品を頂きました。  
当クラブからも感謝の楯を贈呈する件…承認。  
(5月17日の記念例会に於いて贈呈)

## 幹事報告

### ■例会変更

◎那智勝浦RC

5月 8日(木)→ 5月 8日(木) 12:30~  
場所: 熊野RC <他クラブ訪問例会>

### ■メークアップ

◎4月27日(日)40周年記念事業

愛須君、後藤君、平野君、本田君、岩崎君、片井君、木村君、北村君、畔田君、前田君、森本君、中川君、中嶋君、野村君、奥平君、坂本君、杉若君、武田君、竹村君、谷峯君、谷本君、玉置君、渡口君、山本君、早稲田君、吉田君、吉本君

◎4月27日(日)2014~2015年度のための地区研修・協議会

橋本君、泉君、小山君、岡本君、沖君、佐田君、谷中君、上原君

◎4月30日(水)田辺市長へ記念品の目録贈呈

平野君、竹村君、谷中君

◎4月30日(水)40周年記念式典委員会

後藤君、小山君、岡本君、武田君、竹村君、谷中君、山本君

### ■回覧

◎田辺市環境課より

「紀の国わかやま国体リハーサル大会・世界遺産登録10周年記念『田辺湾クリーン作戦』実施について(お願い)」

日時: 5月31日(土)午後1時30分~

◎国際ロータリーより

「半期報告書および請求システムの変更についてお知らせ」

◎「ガバナー月信5月号」

◎「『ロータリーの友』5月号 地区だより」

◎ガバナー事務所より

「至急ご連絡」

◎ガバナーエレクト事務所より

「2014~2015年度のための地区研修・協議会ご出席の御礼」

「地区研修・協議会 情報規定部門の当日配布資料」

## ■連絡

- ◎ロータリーの友5月号が届いています。各自トレーに入っています。  
◎5月のロータリーレートは 1ドル=102円です。

## 委員会報告

◎40周年記念委員会

記念委員長補佐 武田静也君



4月27日(日)「紀南Future Kids Project 2014 ~未来を担う子どもたちのために~」を開催致しました。ご協力ありがとうございました。

◎社会奉仕委員会 玉置和男君



5月31日(日)午後1時30分より「田辺湾クリーン作戦」が行われますので御参加よろしくお願いします。

## プログラム

### 会員卓話

浦地 章君



5月3日は憲法記念日です。最近、憲法改正や集団的自衛権が取り立たされています。

『永遠のO』と云う特攻隊の映画が話題になっています。そこで本日は戦争を知らない皆様方に戦争を少し知っている私が当時どんな想いでいたのかをお話したいと思います。その前に軍隊の組織についてお話をします。

まず、男子国民は二十歳になると徴兵検査が義務付けられています。その検査で甲乙丙丁等に格付けされます。これは主に体格によるもので甲種合格者が現役入隊します。通常2年で復帰しこれを予備役と言います。

戦争で兵隊が多く必要になった時呼び戻されますが、この時の通知書が召集令状(赤紙)と呼ばれました。又現役入隊しないで、のちに召集される人たちを神充兵と呼びます。

その後、戦争が激しくなると徴兵検査の年齢も18歳に引き下げられ、甲や乙の規格も小さくなり、ほとんどの人が現役入隊となりました。兵隊を集めて指導する人たちが必要になります。下士官、士官と呼ばれ、下士官

は一般兵から選任され、伍長、軍曹、曹長に階級付けされます。会社で云えば係長的存在です。

次に士官ですが、これは士官学校出身者がなりますが人数が足りなくなってきたら幹部候補生を養成して任官させます。いわゆるキャリア組です。幹部候補生は中学卒業資格のある者から選出して教育します。合格者は1年～2年訓練の後、少尉に任官します。これは準キャリアと言ったところでしょうか。更に上級の佐官級、将官級とあります。佐官は部長、将官は重役と言ったところです。

士官学校卒業生は軍人を人生の仕事と考えているわけで職業軍人と呼ばれる事もありました。

士官学校より少し早くから軍人教育をする学校が陸軍幼年学校と云い、各地の秀才を集めています。各学校の優等生です。

私たちのクラブでは今は亡き隱岐先生があります。

(入学のみで終戦をむかえました)

そのような時代に生きた私たちの世代の少年時代、どのような思いで過ごしたのかをお話します。

私が生まれたのは昭和6年、満州事変の時小学校入学、昭和12年支那事変と世界が戦争の渦に巻き込まれようとしていた時代でした。然し当時は何も情報が伝わらない時代でラヂオ、新聞も一部の職業の人たちだけのものでした。私たちは学校の先生や大人たちから少しの情報が入るだけでした。然し1年生の教科書の最初には“ススメ、ススメ、ハイタイススメ”と云う言葉があったのを憶えています。

その後特に軍国教育と云われる様なことはありません。総じて自然に憶える知識だけだったように思います。

中学校に入ると通学にはゲートル（脚絆）を巻いていきます。軍事教練という授業があり、教師は退役軍人と現役将校で配属軍人と云います。

軍隊の初年兵教育はあまり厳しくない教育でした。

戦争末期になると人手不足で学徒動員が始まり少年兵の募集も多くなりました。私たちは紀州造船に動員されました。そこで敵戦闘機の銃撃を受け大変恐ろしい思いをしましたが、ここで死ぬなら兵隊になって死ぬほうがまだと思い特別幹部候補生を受けようと思った時、8月16日終戦となりました。

そんな事で命拾いをした訳ですが終戦の時どんな思いだったか、どうも思い出せませんが、これからどうなるのだろうと言う不安と共にやれやれと言う思いが大きかったと思います。

戦争は一部の指導者の責任だけではなく何か歴史の必然の様にも思います。ただ平和を唱えるだけでは国力を維持できる時代ではなかったのではないかと思う。

最近、集団的自衛権に対する意見の中で、徴兵制度や昔と同じような道を歩むのではないかと言う意見を新聞等で見ますが、世界の各国が独立し平和を求めている時代に、昔の日本の戦争をイメージして話すと云う事は大きな間違いではないかと思います。

最後になりましたが40周年を記念してチャーターメンバーとしての思いをお話します。

私はロータリークラブに入会して本当に良かったと云う思いでいっぱいです。多くのすばらしい人達と出会いとても楽しい事もありました。奉仕活動等いろいろな事が想い出されます。然しこと云っても一番は例会場にいつも掲げられている「四つのテスト」です。

“真実かどうか”

“みんなに公平か”

“好意と友情を深めるか”

“みんなのためになるかどうか”

私はこの中に“好意と友情を深めるか”が大好きです。私も色々な団体を経験しました。それぞれ意見の違いがあつたり問題が起きたりする事もあります。然しごく一般的な団体ではそれが普通です。

吾がロータリーの様に友愛の精神を綱領に掲げた団体はどこにもないのではないでしょうか。

吾がロータリーも色々な意見はあると思いますが、最後はこの“好意と友情”ですべて解決できると思います。どうか今後共皆様の好意と友情をもってお付き合いをお願いして、お話を終わらせていただきます。

